

# 建学の祖 上田鳳陽

## 山口に学問所を

上田鳳陽は、明和6(1769)年、萩藩の下級藩士・宮崎猪兵衛在政の三男として生まれた。幼少の頃、上田平右衛門清房の養子となり、清房の亡くなった後はその跡を継いだ。幼い頃から学問が好きで、山口では文学を学んでいた。

寛政12(1800)年11月、32歳にして藩校明倫館に入学する。当時、明倫館には後に学頭となる山県太華や中村牛莊らがあり、特に太華とはいつも論じ合っては切磋琢磨し、志を語り合い、生涯の友となった。

鳳陽は、将来を期待され、藩費生の待遇を受けるとともに、3年という規定年数を超えての修学が許可され、文化6(1809)年まで儒学や国学を学んだ。

文化6年11月、明倫館での修学を終え帰郷した鳳陽は、山口に住む藩士の教育にあたる。山口は大内氏時代には文教の中心地であったのだが、その滅亡後は大内文化も衰退していた。この頃、山口周辺では萩の藩校明倫館のほか、三田尻にも越氏塾が開かれ、学館が多くできていた。しかし、山口には武芸の稽古場はあるものの、学問を指導する環境は整っていなかった。鳳陽はこのことを非常に憂い、文化12(1815)年、学問所の設立を思い立ち、その実現に向けて奔走したのである。この時、鳳陽47歳であった。

山口講堂を開設した鳳陽は、藩主に大いに褒められ、下級武士の身分から、中級武士へと昇格し、研究に専念できるよう儒役という役職に引き上げられた。

文化十二年四月十五日  
無給通本人  
上田茂右衛門

△ 一代遠近附被仰付  
△ 一代儒役

右文学抽令出精候段達  
上聞候、往々御用ニ相立諸人之  
励ニ茂可相成儀ニ付、身柄一代  
遠近付ニ被仰付儒役ニ被召仕  
学問指南被仰付候、尤二代目与者  
最前之身通江被差返平士ニ可  
被召仕候事

右之節詮議  
前簾明倫館入込文学出精追々上達仕  
近年者於山口門弟取立仕候処、只今之身通ニて者  
教導筋間茂御座候由学頭役中村九郎兵衛より  
内々申立之趣茂有之候、山口ニ而武芸之儀者  
稽古場も有之、馬場等も御座候処、学問所  
無御座ニ付、近比彼者自力を以家塾をも  
取立候由御座候、偏ニ学問一途ニ相傾キ居候  
者之由相聞候間、本文之通被仰付候而者  
いかゞ可有御座哉者伺之上右之通被仰付候事

「御賞美先例」二十七・三篇(山口県文書館所蔵)  
鳳陽の昇格や山口講堂開設の経緯などが分かる



## 晩年も学問、教育を追及

山口講堂開設の後は経営を門人に任せ、かねてより希望していた国学の研究のため明倫館に再入学し、館内に秘蔵の国学関係の書籍、主に大黒屋本と呼ばれている書籍を研究した。



大黒屋本とは？

国学者・契沖の門下で、長州藩御用達であった京都の町人・大黒屋今井似閑が享保年間に契沖の遺著及び、自らが長年集めていた国学関係の典籍を京都の上賀茂神社の神庫に奉納しておいたものを、明倫館創立の際に伝写したもの。現在は山口県立山口図書館に保存されている。

明倫館での研究を1年程行った後、鳳陽は再び山口に戻り、講堂の経営に生涯をささげた。天保5(1834)年には、藩主敬親より自筆の聖号を下賜されるとともに、その表装用として紋章入りの茶地金欄織の布を与えられた。翌年、これを使用した表装を山口講堂に納め、志ある人々に礼拝を許した。

また、鳳陽は儒学だけではなく国学にも精通し、故事にも詳しくあったため、山口代官から委嘱され、「風土注進案」の編纂にもかかわった。「風土注進案」は、敬親の命により、防長両国の各村落について故事来歴や地理など数十項にわたる項目を調査し、それをとりまとめ、町村から注進する形式で、一町村ごとに一冊に編纂した文書である。鳳陽が編纂にあたった「山口宰判風土注進案」は、数ある風土注進案の中でもその精細さから高く評価されている。



山口風土注進案  
(山口県文書館所蔵)



上田鳳陽の墓 (山口市乗福寺)  
碑銘は山県太華によるもの

年を重ねてもなお、学問や教育への志は高く、変わらず藩士の教導に努めた。藩はそれを賞して、鳳陽の晩年にも昇格や増給を行っている。鳳陽がいかに地方の文教開発に寄与し、また藩がそれを評価していたかがうかがえる。

嘉永6(1853)年、鳳陽は85歳でこの世を去った。鳳陽の遺したものはあまりに大きく、山口における教育の礎は鳳陽によって造られたと言って過言でない。

### 鳳陽先生って、どんな人？

- 80歳を過ぎてからも健脚、食欲旺盛。視力もよく、髪も黒かった。
- とにかく読書家。真理発見に狂喜したり、自らを罵り哭いて、周囲を驚かせることも。
- 古文書や古器物は遠く離れたところでも見に行くほど好き。
- 情に篤く、尊王攘夷の志士となった友人がこっそり訪ねてきてくれた時には、ごちそうでもてなし、帰る際にはいつまでも見送り続けた。